

# VISION

The Brotherhood of St. Andrew Japan, Inc.

《幻がなければ民は墮落する》箴言29章18節



一般社団法人日本聖徒アンデレ同胞会  
〒105-0011 東京都港区芝公園3-6-18  
日本聖公会東京教区会館内  
3-6-18 Shibakoen, Minato-ku, Tokyo  
TEL 03-3436-4325 FAX 03-3432-1696  
http://www.brotherhood-st-andrew-japan.org

BSA 会報《季刊発行》

発行人 足立 征三郎  
編集者 萩谷 長生  
印刷所 株式会社スコポレーション

## 観想的なひとへ

ウィリアムズ神学館 館長

司祭 ヨハネ 黒田 裕

この春から米国ヴァージニア神学校で日本に居ながらにして学びを深める機会が与えられています。自己の研鑽はもちろぬのことですが、想定外だったのは神学教育の全体に関わる気づきが与えられていることです。

ご存知の通りウィリアムズ神学館は「道を伝えて己を伝えず」を教育理念として掲げ、祈り、学び、生活を三本柱としてその教育を進めてきました。さらに日々の礼拝は「神学館における神学教育を根底から支える最も大切な行為」(履修要項5頁)とされています。こうした諸原則を、いま学んでいる霊性神学を通して眺めると、さらに躍動的・統合的にこれらが浮か

びあがってくるのです。例えば、神学校が養成しようとする人間像を前記のような視点からみると「観想的なひと」ということができます。観想(コテンンプラチオ)とは、伝統的に修道院の中で実践されてきた瞑想の過程である、レクチオ(読書)ももちろん一義的には聖書でオラチオ(祈り)の最終段階にあたるもので、神と人との神秘的な合一を意味します。恋人たちが沈黙のうちに見つめ合うように、人と神とが対面する至高の愛の状態といった表現をする研究者もいます。いずれにせよコンテンツプラチオとは、「観」という漢字があてられている通り、みること「に」関係し、かつ、言語としてまとまった形をもった祈りとは異なる祈りということができます。

「A long, loving look at the real」という表現が登場してきました。継続的・永続的に霊的な小径を歩みつつ、神さまの愛のうちに、「ほんとうのこと」を見つめる、という意味合いがあります。そして、この「the real」には、神さまと神さまにおける現実はおちろんのこと、神さまとの関係における真の自己(祈りに集まれない自分や傲慢な自分、欠けのある自分や傷ついた自分も含まれます)や、他者との連帯性における自己といったかなり広がりのある現実性が含意されています。また、そこにおいて、現代の霊性神学は、ある種の自己覚知あるいはアンガーマネジメント(怒りの感情と上手につきあう心理トレーニング)をも時に射程に入れています。さらには、この観想は、聖書や諸現実の神学的解釈と軌を一にするがゆえに、この次元において日々の礼拝と神学諸科との総合の契機をも有しているのです。

以上を踏まえて神学教育の全体像を言いあらわしてみます。まず神学校生活全体を、教会奉仕者になることに向けた霊的な旅のはじまりと捉えます。そこでは祈りと学びと生活を通して観想的なひとへと涵養されることとが期待されます。その経路は、「道を伝えて、「己を伝えず」の道であり、それはまたくりかえし同じ場所を通るよう(スパイラル)に見えつつ、全体として示しているような「み子が再び来られるまで」(祈禱書175頁)続く終末論的な方向性を持つています。そうした霊的な旅はまた、ヴィア・メディアの途であり、両極のどちらに与することなく、それらを越えた先に真理を見出し、両極を相解的の橋渡しする使命を帯び、神との関係において他者と連帯する道行きということが出来ます。

間もなくウィリアムズ神学館の2学期が始まるうとしています。机上の空論で終わらないよう、神学生たちや同僚の友と協力が受肉化するよう努力してまいりたいと思います。そのためには皆さまのご助力を欠くことはできません。今後ともウィリアムズ神学館をおぼえ、ご加禱とご支援の程どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

### 信徒叢書の編集

BSA信徒叢書の発行に向けた動きも少しずつではあるが進み、現在原稿の入稿が3点、計画段階が3点あり、2021年の発行を目指して努力している。メールや電話で連絡を取り合いながら、集まる時は、お互いの間隔を十分空けるよう注意している。

### 会員動向

聖公会神学院の入学式が5月11日(月)(当初予定は、4月6日・月)に行われ、福永 澄兄(聖マーガレット教会)が、また、今年から始まった「信徒の奉仕・召命コース」に染谷孝章兄(横浜山手聖公会)がそれぞれ入学した。二人はともにBSA会員。元理事の金子真兄から、経営する会社の広告をVISIONに出稿したいという申出があった。173号から出稿の予定

## コロナ禍の下でのBSA活動

足立会長2期目に入る  
2月22日(土)、第106総会後の理事会で足立会長が再選され、二期目がスタートした。しかし、その頃には、日本でも新型コロナウイルスの感染は報じられていた。

### 諸会議・催事の中止

総会を終えて、これから活動を始めようという時であった。月例の理事会をはじめ諸会議や催事も3月以降延期または中止を余儀なくされた。

特別委員会、支部長会議、BSA創立100周年プロジェクト、同プロジェクト主催の「口

ゴマーク」選考委員会・表彰式、支部との懇談会、青少年キャンピング(3月31日-4月2日)、BSAセミナー(5月23日-10月3日)が影響を受けた。こうした中で、7月20日、「本部だより」第28号を発行、支部長宛て発信した。

9月24日(木)にZOOMでテストを兼ねて理事会を開き、今後の日程を中心に協議した。10月5日(月)、同26日(月)にZOOMを使って理事会を開き、11月の第107総会の持ち方を検討した。11月28日(土)に記念礼拝を行う方向で検討した。

(編集部)



### ポール・ラッシュユから受け継ぐもの(1)

12月12日は、ポール・ラッシュユの命日である。東京・八王子にある霊園には今年も関係者が墓参りに訪れることであろう。

本紙では、BSAの創立100周年プロジェクト協賛企画として「ポール・ラッシュユから受け継ぐもの」と題して、ポールに直接、間接にかかわりのある方々に寄稿をお願いした。

ポール・ラッシュユを直接知る人は、少なくともあった。しかし、ポール・ラッシュユの著作やその研究、翻訳、あるいはキープ協会の業務を通してポール・ラッシュユの人となりに触れた人は少なくない。



第一回目は松平信久・前立教学院院长に寄稿していただいた。

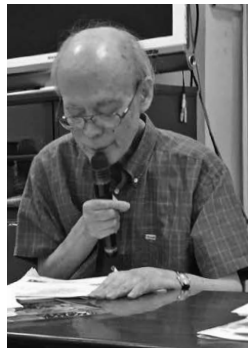
このほか本号には、昨年11月のBSA第105総会記念礼拝における澁澤一郎中部教区主教(当時)の記念説教の要旨を掲載させていただく。

もうひとつは、8月28日の朝日新聞経済面の「経済気象台」というコラムの「今求められる行動規範とは」という記事を紹介したい。

本号は期せずしてポール・ラッシュユ関連記事が3本集まったので、ここにまとめて掲載することとした。(編集部)

### ポール・ラッシュユから学んだこと

立教学院前院長 ヨセフ 松平信久  
ポール・ラッシュユの来日は、使命感や強固な信念にもとづくものではなかった。当初の訪日の目的であった、日本の



YMCAの施設再建業務への参画も短期の腰かけ仕事のつもりであったし、立教大学への就任はマキム主教らに乞われての洪々ながらのものであった。多くの宣教師が、召命感を胸に秘め覚悟を決めて赴任したのとは大分趣を異にしている。しかしそれにも拘わらず、彼はその後の生涯の大半を日本で送ることになり、そのエネルギーの全てを日本のために注いだ。その活動の範囲は、キリスト教界、大学教育界を超えて、地域活動、生産活動、医療活動など広い分野に及び、日本とアメリカ、カナダ、東アジア諸国など国際的な広がりを見せるものであった。

私は残念ながらラッシュユとの直接の面識はない。以下は、本や人づてによつて知りえたラッシュユ像から学ぶことである。

あのエネルギーの元には何があつたのだろうか。それまで眠っていた地下のマグマが目覚まし、ぐつぐつと活動し始めたように見える。その着火点になつたのは、日本の青年への働きかけの必要性の自覚と、戦後にあつては高冷地農業の改革と、日本社会へのキリスト教民主主義の導入と定着という願いであつたろう。もともとほほ何の関係もなかった他者へのこのような献身に、驚きとともに敬意を感じざるを得ない。

ポールは気さくで人なつこかつた。次の文章はそのような彼の人柄をよく伝えている。「ポールさんは百姓たちのむ

さい集いにも気軽に出席してくださつて、機をみて萬歳三唱の音頭をとつてくれた。会が進むにつれて、ポールさんはニコニコしながら萬歳の「ばんちよ」がくるのを待っていたし、百姓は百姓で長々しい祝詞や挨拶が終つて、早くポールさんの「せえーの」がはじまるのを待っていた。

いたずらっぽいポールさんは日本語はだめだったが、あの小さなずんぐり体を下からゆすり上げて両手を展げての「マンゼー」は立派な日本語だった。「奈良靖夫「コマ」2012年 げんごろう工房」

ポールの人に会つた時の挨拶は「よーっ」の一声だけだったという。それでも気持ちを通じ合い、親しみが深まった。リーダーにのぞまれる人柄の一端が示されていると言えらるだろう。

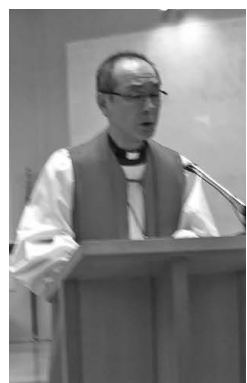
行動を起こす際のタイプは人によって違う。石橋を叩いて渡る人、叩いても渡らない人、とにかく先ず渡つて見る人。ポール・ラッシュユは言うまでもなく3番目のタイプである。渡り始めてからの精力的な活動には誰もが舌を巻いた。タイプライターを打ち続けたエネルギーは、現在のネット社会の下ではどこに向かうのだろうか。状況は違つてもあの即断即決の行動力は、魅力を失わない。

私が思うのは、神様は、人それぞれにタラントを活かしてその人を用いて下さるということだ。そのタラントの中には人の得意とすることや長所とは別の、欠点や弱点も含まれる。「二人が一人を」というBSAのモットーは、その「一人一人」が皆違つていてよい、あるいは、違つてはいるからよい、ということだと私は理解している。

(編集部注:筆者は評議員。エリザベス・アン・ヘンフィル著「キープへの道」昭和史を拓いたポール・ラッシュユ 共訳者)

### 気が進まないことに留まる

主教 ペテロ 澁澤一郎



改めて申し上げるまでもなく、「日本聖徒アンデレ同胞会(BSA)」は実質的にはポール・ラッシュユ博士により、1927年(昭和2)11月30日に発足しました。ポール博士は関東大震災で被災した東京YMCA再建のために来日していましたが、

しかし、当時の東京聖三一教会牧師であつたノーマン・ビンステッド司祭から日本に残り宣教師として立教大学の教員にならないかとの強い誘いを受けました。しかし、ポール博士は、

自分は宣教師には向いていないし、ホテルマンになることが自分の希望であるので日本に残るつもりはないと、ビンステッド司祭の申し出を断つたのです。しかし、ビンステッド司祭は諦めず、今度は当時の北東京地方部主教であり、立教学院理事長でもあつたジョン・マキム主教と同学院総理であつたライフスナイダー主教がポール博士の説得に当たつたのでした。ポール博士もさすがに3人からの説得には抗えませんでした。ただし、百パーセントこの要請に応えたわけではなく、1年だけの約束で日本に残り立教で働くことになつたのです。

その決断が日本BSAの誕生につながり、清泉寮の誕生にもつながつたのですから神様の御心は計り知れませんか。と言いますのも、当初、ポール博士は自

ら進んで日本に残りたいと思つたのではありませんでした。気が進まず、しぶしぶ引き受けたと言つたほうが正確でしょう。アメリカには婚約者もおられました。

しかし、気が進まないことでもそこに留まり続けることによりその先に新しい展開が与えられるというのをわたしたちは知るのです。そこに神様の計り知れない御計画があります。教育宣教師として立教で教えていたポール博士は学生と充実した生活を送つていましたが、それでも、いわゆる「宣教師」としての意識はまだそれほど強くはありませんでした。

しかし、決定的な転機が訪れました。ポール博士は洗礼を受けた学生たちの教父を引き受けたのです。その時、ライフスナイダー主教から、これからは学生たちの信仰の導き手となつてほしいと、彼らの信仰を託されたのです。その時、自分が立教で働く本当の意味は福音を伝えることでした。ポール博士曰く、「目の前でパチンとはじかれた思いだつた」と述懐しています。ポール博士の「回心」です。そして、「宣教師ポール・ラッシュユ博士」が誕生しました。

多少気が進まないことでもそこに留まることを決断し、そこでの働きに身を委ねることにより、神様は必ず新しい気付きを与えてくださり、神様の御心に適つた働きへとわたしたちを導いてくださるのでした。ポール博士の例はそのことをわたしたちに教えています。BSAの本格的な活動がそこから始まり今日まで継続されていることを想い起こすと、神様の導きの不思議さを強く感じるのでした。

(2019年11月30日(土)BSA総会記念聖餐式説教(抄))

朝日新聞の朝刊経済面に「経済気象台」というコラムがある。取り上げる話題と視点が面白く、経済音痴な私ではあるが、このコラムは欠かさず読む。筆者は経済界の第一線で活躍している人や学者だという。

8月28日(金)、「今求められる行動規範とは」というタイトルので、わがポール・ラッシュユ先生が紹介された。筆者はペンネーム「玄」氏。「キープ協会」の関係者かと思うほど、ポールのことをよく知っている。

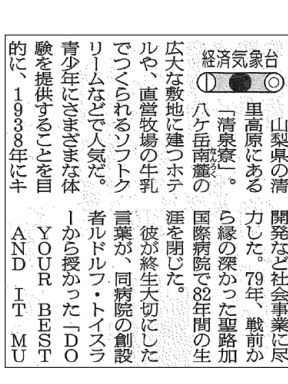
清里高原の「清泉寮」設立から筆を起し、創設者としてポール・ラッシュユが登場する。

山梨県の清里高原に清泉寮(きんせんりやう)を開発する社会事業に尽力した。79年、戦前から縁の深かつた聖路加国際病院で82年間の生涯を終じた。彼が終生大切にしていた言葉が、同病院の創設者ルドルフ・トイスラフから授けられた「DO YOUR BEST」の言葉を提供することになった。1938年に手

1925年の来日から1979年、82歳で亡くなるまでの一通りの活動を紹介。そして彼が大切にしていた言葉として「最善を尽くし一流たるべし」の解説が来る。

「玄」氏は、「最善を尽くすとはよく聞くが、往々にして精神論に終わりがちだ。「一流」が付くことで、自分が担う仕事の結果への責任感が問われる行動規範となる」という。折しも「新型コロナウイルス」によって、行政への信頼は低下した。安倍首相や小池都知事らの責任は重い。厚労省、経産省、国交省などの幹部も含め、ラッシュユが信条とした言葉に耳を傾けよ」と締めくくると。

ポール・ラッシュユの名前と業績をこの記事で初めて知った人も世の中には多いのではないかと(理事 ダビデ 吉松英美)



山梨県の清里高原に清泉寮(きんせんりやう)を開発する社会事業に尽力した。79年、戦前から縁の深かつた聖路加国際病院で82年間の生涯を終じた。彼が終生大切にしていた言葉が、同病院の創設者ルドルフ・トイスラフから授けられた「DO YOUR BEST」の言葉を提供することになった。1938年に手



### サムエル岡野 峻兄を悼む

理事 ダビデ 吉松英美

BSA評議員のサムエル岡野峻さんが亡くなった。88歳。5月初めに大病院で心臓弁膜症と診断され、同27日に入院翌28日に手術を受けた。その後も治療を続け、退院の日を待ったが、6月28日(日)、還らぬ人となった。岡野さんは2012年BSAに入会した。この時は19人が入会、BSA団塊の世代といわれた。



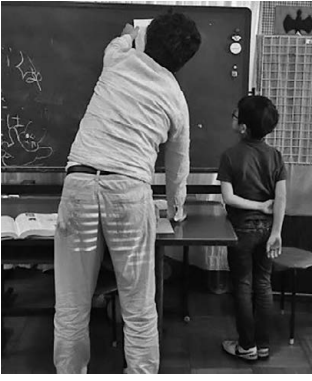
14年評議員に選ばれ、今年2月の評議員会では議長を務めた。竹田 眞主教の信任が篤く、教区宣教主事を務めた。いくつかのプロジェクトを立ち上げ、教区の活性化に貢献した。東

### コロナ禍を生きる 子どもたち(投稿)

— 支援活動の現場から —

目白聖公会 ヨセフ 田中茂朗

目白聖公会では2016年から小中学生を対象とした無料学習支援活動(聖シプリアン学習塾)を展開し、18年からは豊島区の行政や同区内のNPO団体などと連携しながら主にひとり親家庭を対象とした食糧支援活動(フード・パントリー)も行ってきました。



京・横浜両教区宣教協働委員として、松戸聖パウロ教会や柏聖アンデレ教会の設立にかかわった。

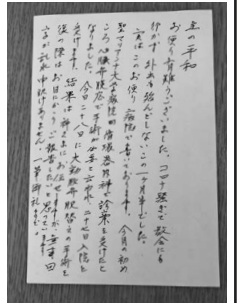
宣教主事を退いた後、聖公会神学院の事務長に就任。学生寮の改修や図書館を移動して、その後を大教室に改造したほか、教官研究室を整備した。

また、老朽化していた礼拝堂を一新、神学院全体の改修と業務改革を進めた。

ある時「この細い体のどこにそんなエネルギーがあるのですか」と聞くと、「石油を売ってきたから」といって、笑った。言葉にユーモアがあった。

手書き派で、インクにこだわりのあった。私がモンブランのロイヤル・ブルーを使っているという、早速購入、端正な文字をモンブランに託した。

岡野さんが亡くなったあとで、かばんの中から筆者に宛てたはがきが出てきた。手術の日の朝書いたもので、「結果は神さまにお任せしますが、無事回復の際はお目にかかり、ご報告したい」と思っていますとあった。



筆者宛ての未投函の手紙

5月の連休後、「コロナの日々をどうお過ごしですか」という手紙を出した。岡野さんのはがきは返事であった。

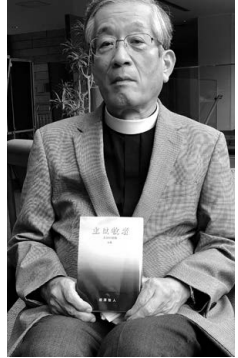
しかし、このはがきは投函されることなく、かばんの中で主人の最後を看取った。

手紙の文字列が左下方向に傾斜している。手術前、気持ちが揺れていたのだろうか。

長女の倫子さんによると、これが「絶筆」であろうという。葬儀で説教をした宮崎 光司も傍らに立つ人といった。岡野さんの語るのに、これほどふざけい言葉はない。これは今はまだ主のみもとで安らかにお休みくださることを祈るばかりである。

### 新刊紹介

#### 相澤牧人司祭著『主は牧者』



#### 福音を語る喜び

司祭 ヨハネ 相澤牧人

数少ない方々から分りやすい説教ですね、と言われたことに気を良くし、定年退職を機にまとめてみようかと思ひ、昨年『主は牧者 主日の説教A年』を、そして今年の10月に『緑の牧場 主日の説教B年』を発行しました(C年は来年発行予定です)。

牧師としての働きは多岐にわたりますが、その中でも主日の礼拝で説教をすることは大きな位置を占めています。先聖職に教えられた説教準備の仕方は、納得しつつもなかなか実行できず悩んでいました。しかし、ある時から自分なりに考えて、火曜日の朝に次主日の聖書箇所を読み、頭に入れ、聖書を巡らし、日々の働きの中で思いを巡らし、ヒントを見出し、構想を練り、木曜日には取りあえず原稿にし、3回から4回の見直し、書き直しをして、金曜の夕食前までには取りあえず完成させる。そして、感謝と安堵の気持ちの中、これは至福の時と杯を傾ける。これが通じるかという疑問になるのだが、

牧師としての働きは人々を天国にお連れすることでしょうが、よく考えると「天国の入り口までお連れする」のではないかなと思うようになりました。それは、あと一歩を踏み出すのは自分ではないからではないか。自分自身が選び取らなければならぬことなのだと思ふからです。

この説教集がそのためのお役に少しでもなるなら嬉しいことです。

ご希望の方は「住所・氏名・A年、B年、両書」を明記の上、左記のメールかFAXで相澤牧人宛てにご連絡ください。  
e-mail: revai@makto.org  
FAX: 0557-5517515

#### 『主は牧者』を読む

ペテロ 遠藤 徹

筆者は最近或る方からこの本をお贈り頂き、一日一章ずつ読み始めたのであるが、その感想は一言で言うて「目を覚ました！」である。これを読んだ前後で、聖書は別の書物として私の前にある。――偽らざる感想である。

私は洗礼を授かった松本正男司祭の厳命に従って、中学生になつて以来、ほとんど欠かすことなく日々聖書を読んできた。大学に進んでからは解説書を脇に置いて読むようになった。西洋哲学の教育者となつてからは、研究書にも目を通した。しかし、その私が、80歳を越す今、この本に出会わなかつたら、私は聖書に対して盲目なまま人生を終わらしたと痛感させられていた。

長々しい説教は一つもない。どこにその秘訣があるのか。分析するのは難しい。取り上げられる聖書の箇所に応じて、読み解く鋭さがいろいろだからである。目が絶えずそれぞれの箇所を最も本質的な点に向いている。それはたいして二つか三つのポイントに絞られている。そしてそれは外ならぬイエスご自身が目を向けられた点であったと知らされるのである。また、極限まで簡潔に書かれた聖書の言葉の「行間を読む」ということがある。それが読み解かれることによって、登場人物が生きた人間として浮かび上がってくる。

分析すれば、まだまだある。しかし、それもかく百聞は一見に如かず。信仰者も求道者も是非読むように。読まなければ聖書に對して盲人で終わること間違いなし。

(横浜山手聖公会)



**St. Luke's**  
会員制健康クラブ  
聖路加フレンズ

聖路加フレンズは、  
健やかなところからだをつくるための  
会員制健康クラブです

☎ 03-3541-1056  
受付時間 平日9:00~16:00  
(土・日・祝日を除く)

株式会社聖路加コーポレーション  
聖路加フレンズ事務局  
https://www.stlukes-friends.com/

創立の恩人 ポールラッシュ  
学校法人メイウシヤマ学園

**ハリウッド大学院大学**  
**ハリウッド美容専門学校**

〒106-8541 東京都港区六本木6-4-1 六本木ヒルズハリウッドプラザ  
☎ 0120-083394 www.hollywood.ac.jp



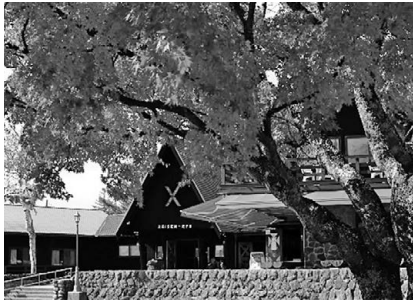
# 清里高原だより 清泉寮ニユース

## コロナ禍の2020年 紅葉の清泉寮で癒しのひとときを 感染拡大予防策を図った清泉寮

新しい生活様式を迎える清泉寮 世界的な流行病(パンデミック)となった新型コロナウイルス感染症は、日本国内での急激な感染拡大こそ一旦収まりましたが、依然として先の見えない状況が続いています。毎年秋に行われる「ポール・ラッシュユース(八ヶ岳カンティフェア)」も、大規模な交流や飲食を伴うことから本年度は中止となり、この時期の一大イベント不在の寂しい秋を迎えています。

WITHiコロナ時代のお客様のお迎えについて、試行錯誤の新たな毎日を迎えています。清里高原の秋は、標高3000級の八ヶ岳から紅葉前線が一年で最も駆け降りてくる、一年で最もダイナミックで美しいシーズンです。是非秋の清泉寮へ遊びにいらしてください。

清里及び北杜市では幸いなことに、ここ数年新規感染者は報告されておりません。清泉寮と清泉寮自然学校は徹底した感染拡大予防策を図ることで「やまなしグリーン・ゾーン」認証施設として認められ、GOTOキャンペーン等の観光振興策を追い風に、夏以降お客様も戻りつつあります。開放感のある大自然が、ご家族連れのお客様を中心に再評価いただいているようです。



**清泉寮本館レストラン**  
秋の新ランチメニュー

清泉寮本館レストランでは、ランチ初の和食メニューとなる「八ヶ岳の湧水で育てた虹鱈の甲州味噌焼き」を発売しました。虹鱈は清里を代表する川魚で、甲州味噌や北杜市内の造り酒屋の麹と合わせ、洋食のシェフが腕によりをかけて香ばしく焼き上げています。

伝統の清泉寮カレーが定番メニューですが、他にも清泉寮ジャージー牧場の乳製品や地元食材にこだわった様々なメニューをご用意しております。山梨県産のワインや清里の地



ビールと合わせて、高原のランチをお楽しみください。

### 紅葉の森を歩いてみませんか

秋は森も鮮やかに染まり、実り豊かな季節。空気も澄んで、360度の山々が望めます。そんな秋は、森の中を散策するのにぴったりの季節です。ふれあいセンターでは、自然や文化について楽しく学べる展示や情報がたくさん揃っています。展示内容も季節に合わせて変更しており、赤や黄色に染まる紅葉やキノコなど秋の展示も随時登場予定です。

森を散策する前や、清泉寮から見える山々の名前を知りたい時、または自然について不思議だと思ふことなどなどあります。ぜひ八ヶ岳自然ふれあいセンターにお立ち寄りください。皆さんのご来館を心よりお待ちしております。お問合せ：0551-4812900



※清泉寮及び清泉寮自然学校は、「GOTOトラベルキャンペーン」において、割引対象となる「宿泊事業者」の認定を受けました。お電話か清泉寮ホームページからご予約でGOTOトラベルキャンペーンがご利用できます。ぜひご利用ください。

### 「VISION」文芸

野田 徹  
夏草を刈りて飛び出すイナゴかな  
薪作り汗が目にしむ夏の午後  
流星に出会った感動よみがえり

雲辺(松岡正治)

雨戸明け台風前の一仕事  
野に出れば迷う事なく青き踏む  
市ヶ谷の緩き坂道秋に入る  
大森に軒残る海苔の店  
朋友の逝きて一人や菊枕

萩谷長生  
夕刻に月下美人は蕾なれど  
午前零時に燦然と咲く  
修道院跡地の墓に詣でれば  
道案内は赤トンボなり

吉松英美  
会うたびに「最優先で取り組む」と  
それを信じて横田 滋さん逝く  
不安なるコロナに生きる昨日今日  
窓越しに聞く梅雨の雨音

「傍に立つ人」とは司祭の評  
岡野 峻兄梅雨に旅立つ

### お詫び・訂正

前号4面掲載のコロナの日々「わたしのステイ・ホームの記事中、「コヘレトの言葉」の執筆者堀井 明兄の所属教会は平塚聖マリヤ教会でした。お詫びして訂正いたします。なお、NHKEテレの関連番組「こころの時代」は10月以降に放送予定です。(日程未定)

### 会費納入のお願い

BSAの運営は皆さまの会費、賛助会費を財源として賄われております。会費納入にご協力のほどよろしくお願いたします。郵便振替または銀行振込みのいずれでも承っております。

**郵便振替口座**  
0017005187165

### 銀行口座

三菱UFJ銀行 虎ノ門支店  
普通預金 4057002  
一般社団法人  
日本聖徒アンデレ同胞会  
(イッパンシヤダンホウジンニホンセイトアンデレドウホウカイ)

### 訃報

セオドール 江原重則兄 (85歳)  
(林間聖バルナバ教会)  
8月1日逝去

クリストファー 小平 基兄 (74歳)  
(林間聖バルナバ教会)  
8月8日逝去

テモテ 金子和雄兄 (83歳)  
(平塚聖マリヤ教会)  
8月15日逝去

銀行振込の際は、お名前前に宛名ラベル右下の番号の下4桁を入力して下さい。

**立教企画グループ**  
学校業務受託、人材派遣等承ります。

株式会社 立教企画  
株式会社 立教オフィスマネジメント  
株式会社 立教ファシリティマネジメント  
株式会社 立教ライブラリーマネジメント  
<http://www.rikkyo-planning.co.jp>

ホームメイド・チーズケーキの店

CHEESE CAKE  
**JOHANN**  
HOME BAKED MADE

和田 博子  
目黒区上目黒1-18-1  
TEL 3793-3503

★一般ご家庭の引越 **事務所引越**  
★オフィスの引越 **のエキスパート!!**  
★フロアーの移動 **★各種展示会セッティング etc..**

**GTEC 株式会社ギンテック**

港区港南3-4-12  
0120-223-008  
TEL 3471-5313

**編集後記**  
今号から連載する「ポール・ラッシュユースから受け継ぐもの」を企画の中に、折しも一般紙のコラムにその規範的足跡が紹介されました(2面参照)。相澤牧人司祭著『主は牧者と「緑の牧場」は著者の意向で進呈本として希望に応じて送付されることとす。蛇足ながら申込みの際に「献金」が添えられるよう願っています。(N・H)